

コーヒーやジュースのカップを入れて持ち運ぶ カップ保持一体成形ポリ袋の開発



- 1 1枚のポリエチレンフィルムで成形した、コーヒーなどのテークアウト用レジ袋「キャリアカップ」。2016年「グッドデザイン賞・ベスト100」に選出された。
- 2 今回、今回の事業で導入された、カップ保持一体成形ポリ袋用製袋機。1分間で200枚を生産し、従来機に比べ2倍の生産力を実現した。
- 3 袋にコーヒーカップを入れると、その形状や大きさに合わせてシールがはがれることでカップがフィット。その構造などで特許を取得した。

ごみ低減に大きな変革をもたらす、「キャリアカップ」が誕生。

ミヤゲンは、「包装の変革」と呼ばれたポリ袋の製袋加工にいち早く着手し、包装資材を中心に水産資材、ストックタイプなどの台所用水切りネットなどを提供してきた。

今回の事業の目的は、コンビニエンスストアのコーヒーなどを持ち運ぶレジ袋を製品化する新・製袋機を導入することにあった。コンビニコーヒーは売上を飛躍的に伸ばしているが、テークアウトにはレジ袋と紙製カップホルダーの2点が必要で、資材コストの高さ、セットに時間が掛かること、ゴミが増えてしまうことが問題となっていた。そこで同社

は、紙製カップホルダーが不要で、1枚のポリエチレンフィルムで成形するレジ袋を発想し、試作を繰り返していた。新・製袋機の導入後は、レジ袋にしわができてしまう難点をクリアし、カップの形状に密着させて持ち運ぶことができる「キャリアカップ」が誕生した。

本製品は2016年9月、「グッドデザイン賞・ベスト100」を受賞。審査員から「コンビニで販売されているコーヒーは年間20億杯。ごみ低減だけをとっても社会に大きな変革をもたらす」と高い評価を得た。

注目すべき成果

「こぼれない」「待たせない」。画期的なキャリアカップ。

同社は3年前から初代、2代目の製品を開発してきたが、カップを置いたときの安定感などの課題があった。新・製袋機を導入後、コーヒーカップを密着保持できる3代目のキャリアカップ開発に成功した。

注目すべき成果

ごみの大幅な低減による、エコ社会への貢献。

同社は、ペットボトル再生原料や古米を使った生物由来資源のポリ袋、台所用水切り袋を全国に先駆けて開発・製造してきた。エコ社会への貢献という発想が、紙製カップホルダーを不要とする製品づくりにつながった。

今後の展望

コンビニをはじめ、ファストフード店などへ展開。

すでに、コンビニ各社、ファストフード店、コーヒーショップなどから多くの問い合わせがあり商談も始まっている。コーヒーだけでなく、おでんやカップ麺容器にも使えるため、多様なシーンでの活用が期待される。

ものづくり 専門員から 一言

製品の改善を
繰り返す姿勢が、
素晴らしい。

同社は3代目キャリアカップにより「グッドデザイン賞・ベスト100」を受賞後も、すでに4代目の製品づくりに着手している。市場を見ずえて改善を繰り返す姿勢は、新事業創出とその改善を支援する「ものづくり補助金」の意義そのものであり、素晴らしいと感じている。

こんな 会社です!

本製品を主力事業化し、 国内から海外も見ずえる。

「キャリアカップ」はすでに国内で特許を取得。国内唯一の「ワンマテリアル・ワンピース生産」のレジ袋として、国内市場での浸透を目指しています。今後は欧米、アジア各国でも国際特許を取得し、国内の数十倍の規模を持つコーヒーのテークアウト市場へ向け、キャリアカップを提供していくのが目標です。その一方で、キャリアカップの主力事業化により、障がい者、高齢者、子育て世代の女性の雇用を通じて、地元敦賀の地方創生に貢献していきたいと考えています。



代表取締役社長
宮元 武壽さん



同社の主力製品は、大手食品スーパーやレンタル店などのショッピングバッグ、全国の市町村のごみ袋、台所用水切りネットなどだ。



本社・工場

株式会社ミヤゲン

代表者：代表取締役社長 宮元武壽
設立：昭和28年4月
資本金：3,000万円
従業員数：40人
事業内容：包装資材、日用雑貨、水産資材の製造販売
売上高：13億7,500万円（平成28年8月期）
〒914-0035 敦賀市山泉7-15-3
☎ 0770-21-0038 FAX 0770-22-5180
URL <http://miyagen8.co.jp/>
E-mail info@miyagen8.co.jp